

とやま未来創生戦略施策等評価会議における主な意見

(平成 28 年 12 月 16 日 開催)

◆全般に関すること

- KPI は多様な主体の連携によって達成できる。県、市町村等の連携状況をふまえた評価となれば良い。
- 評価指標が多岐にわたるので、ある程度、重要性についてのウェイト付けをしなければならない。

【基本目標 1】結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

- 婚活等の結婚支援について、県と市町村が連携して情報交換の場をつくるべき。
- 少子化の要因の一つとして、出産適齢期等をはじめとした、出産・妊娠に関する知識等が不足していると思う。
- 「産前・産後ケア推進のための市町村・助産所への支援」とあるが、助産所がない市町村もあるので、県内全体での実施は難しい。広域的に実施している市町村への支援を行えば効果があがる。
- 交替勤務など多様な働き方に対応した延長保育等の充実を支援し、働きやすい、子育てしやすい富山県というイメージを定着させるべき。

【基本目標 2】産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

- 医薬品生産金額の目標値が 9,000 億円となっているが、1 兆円とすべきではないか。また苦勞して誘致した PMDA の北陸支部とアジアトレーニングセンター研修所の設置をもっとアピールすべき。
- 県内への UIJ ターンを図るには働き場の確保（と生活基盤の整備）が大切で特定の雇用に対する支援などを検討されたい。
- 若い女性の流出が多いことから、県内に女性にとって魅力的な企業があることを流出の多いところへアピールしていく必要がある。
- 長野には東京だけでなく北関東からもたくさん観光客が訪れている。長野にはない「魚」を PR し、北関東から観光客をもっと富山県に呼び込んではどうか。また、金沢を訪れる観光客を富山に呼び込み、宿泊や新鮮な寿司などでお金を消費してもらうことも考えてみてはどうか。
- 世界で日本だけがインバウンドが増えている中で、積極的に外国人観光客の受入体制を整備していく必要があると思うがどうか。

【基本目標 4】活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

- 地域の良さを伝えるふるさと教育と同時に地域は自分たちが支えるのだ、と思ってもらえる教育を行うことが重要ではないか。